

# 我が校の自慢!

大泉西地域の生徒が通う中学校について紹介します。

## 大泉西中学校

### 学校が一つにまとまる合唱コンクール

毎年10月に練馬文化センターで行われる合唱コンクールが、大西中の最大のイベントです。

コンクールでは、全クラス共通の課題曲とクラスごとの自由曲の発表があります。コンクールに向けては、各クラスが朝の授業前から、昼休み、放課後まで練習を重ねます。コンクールが近づくにつれ、生徒一人一人の士気が高まり、先生の指導にも一層熱が入ります。コンクールという一つの目標に向かい、学校全体が一つにまとまっていきます。



コンクール当日には保護者をはじめ、地域の方々も大勢見に来てくださいます。発表する側も観覧する側も一緒になって、コンクールをつくり上げていきます。コンクールを通じて、学校が地域の方々から愛されていることを再認識します。大西中は地域とともに歴史を重ね、成長してきた学校です。地域の方には、これからも、私たちの活躍を見守っていただきたいと思っています。



生徒会長  
服部 宗馬さん

## 関中学校

### 受け継がれた伝統の「ムカデ競争」と「マラソン大会」

春に行われる運動会での「ムカデ競争」と、秋に行われる「マラソン大会」が関中の伝統として受け継がれています。

ムカデ競争は、クラス毎に男女がそれぞれ約20名の大きなムカデとなり、走る速さを競います。毎年新しいクラスになってすぐに練習を開始します。運動会当日には、みんなの息もぴったり合うようになり、クラスの団結力が高まります。そのため、勝敗もありますが、クラスの仲間が力を合わせて競技する姿に感動を覚えます。競技を観戦する保護者の方々には、クラス毎に考えた掛け声も楽しんで頂いております。是非一度、関中のムカデ競争をご覧になって頂きたいと思っています。

マラソン大会は、生徒全員が参加します。所沢の航空公園で、男子5キロ、女子4キロに挑みます。これは、中学生に必要な体力作りと自己への挑戦です。毎年走り終わると、気持ちが強くなるのを感じます。

運動を通して心身共に成長していく関中生！是非、注目してください。



生徒会長  
後藤 啄文さん

## 大泉中学校

### 「あいさつ」と「おもてなし」の心を育む

練馬区内の中学校で一番生徒が多いのが大泉中です。大泉中では、「あいさつ」と「おもてなし」に力をいれています。あいさつは、「大きな声で、元気よく」を合言葉に、生徒全員が取り組んでいます。登下校時をはじめ部活動など人に会った時は、生徒一人一人が元気よくあいさつします。地域の方々からは元気がいいと評判になっています。また、「誰かのために何かをしよう!」をモットーに学校生活を送っています。清掃活動や部活動を行っているとき、正門に車が止まると、近くにいる生徒がすぐに駆け寄り、門を開けます。そして、来校された方には「お荷物をお持ちしましょうか」などの声掛けをするようにしています。来校された方には感謝のお言葉をいただきます。また、そうした行動を通じて、私たちのおもてなしの心が育まれることを感じます。



生徒会長  
古川 葉月さん



秋の運動会では、総勢720名の生徒で踊るソーラン節、ピラミッド6基が立ち上がる男子の組体操、女子の創作ダンスなど見どころ満載です。

これからも、地域の方々を支えられながら、大泉中の生徒として成長をしていきたいと思っています。

秋の運動会では、総勢720名の生徒で踊るソーラン節、ピラミッド6基が立ち上がる男子の組体操、女子の創作ダンスなど見どころ満載です。

## 大泉第二中学校

### 会場全体が大きな感動につつまれる体育祭

毎年10月に行われる体育祭は、大二中の校風を象徴するイベントです。体育祭に向けて、生徒会と各クラスの体育行事委員でスローガンや演技内容などを決めます。今年度は「6色の疾風伝〜今 大二中の戦いが始まる〜」をスローガンに夏休みから練習を始めました。



体育祭は、手作りの聖火台への点灯で始まり、熱のこもった応援合戦、リレーなどが行われた後、3年男子の組み体操、3年女子の創作ダンスでは、会場のボルテージが最高潮に達します。そして、フィナーレで「栄光の架け橋」を生徒全員で合唱。生徒一人一人の想いが、歌を通して一つになり、会場全体が大きな感動につつまれます。

この体育祭は、大二中の伝統であり、先輩から後輩へと脈々と受け継がれてきました。是非、感動する大二中の体育祭に足を運び、一緒に感動を味わっていただきたいと思っています。



生徒会長  
金子 舞さん

★まだまだ各学校には特色や取組みがあります。詳しくは各学校のホームページをご覧ください。

農業にチャレンジ!  
vol.0

農業体験農園「どろんこ・わあるど」に、まちなかレポーターがチャレンジします！その体験の様子の模様を本紙および「わりま地域情報サイト」でお伝えしていきます。お楽しみに！